

小学生への租税教室 2

(参考)1億円の重さを体験してみよう

小学校の校舎を建てるのに約18億円かかります。しかし金額があまりにも大きすぎてイメージできない人も多いはず。少しでもイメージを沸かせるために、租税教室の際に「1億円」レプリカをご用意しています。具体的な重さを実感することで、税について興味が深まると思いますのでぜひ、「1億円」の重さを体験してみてください。



1億円レプリカ

授業を受けた先生の感想

- 税金を身近に感じていない子どもたちにとって、税の使い道を知る良いきっかけになった。授業を受けた子どもたちの心に残り、今後に生きていくと思う。

授業を受けた児童の感想

- 税について、あまり考えていなかったけど、税がどれだけ大切でどれだけ役に立っているか授業を聞いて分かった。
- 今まで消費税なんか知らないと思っていたけど、授業を受けて消費税は必要なものだとなった。

中学生への租税教室 1

授業で使用するスライドの一例

サラリーマン〇〇君の一日

わたしたちの暮らしと税

わたしたちの暮らしと税

今日のテーマ

- ・わたしたちの暮らしと税
- ・「公平」に集めるってどんなこと？
- ・日本の財政と課題

授業内容の一例

これからの社会と税

これからの社会と税

中学生への租税教室 2

(参考)アクティブラーニング

先生からのご要望により、生徒自身に税を集めるための決まり(法律)を考えてもらうなど、アクティブラーニングに対応した租税教室を行うことも可能です。

授業を通じて、税についてより深く関心を持ってもらう良い機会ですので、希望される際は、租税教室の講師にお申し出ください。

実際の授業の様子は右記二次元コードからご覧ください。



授業風景

授業を受けた先生の感想

- 税金についてしっかり学んだのが初めてだった生徒が多かったため、受講して良かった。

授業を受けた生徒の感想

- 税金は生活に必要なものだから、できるだけみんなから公平に集めて適切な使い方をしなければいけないと思った。
- 自分が選挙に行くことで、税金の使い方、集め方も変わるかもしれないと知ることができた。

中学生への租税教室 3 (アクティブラーニング)

300万円を公平に集めるには

	持ってる お金	集める お金	残り	
Aさん	700	?		
Bさん	250	?		
Cさん	50	?		
計	1,000	300		

中学生への租税教室 3 (アクティブラーニング)

みんなから同じ金額を集める

	持ってる お金	集める お金	残り	
Aさん	700	100	600	
Bさん	250	100	150	
Cさん	50	100	▲50	
計	1,000	300	700	

中学生への租税教室 3 (アクティブラーニング)

特定の人が全額負担する

	持ってる お金	集める お金	残り	
Aさん	700	300	400	
Bさん	250	0	250	
Cさん	50	0	50	
計	1,000	300	700	

負担する能力に応じて集める

	持ってる お金	累進税率	残り	
Aさん	700	245 (35%)	455	 ちょっときついけど しょうがないか！
Bさん	250	50 (20%)	200	 これは公平ね！
Cさん	50	5 (10%)	45	 これなら払える！
計	1,000	300	700	

税金には、みんながより公平だと思う仕組みが必要！



公平の考え方	内 容
応能負担	各自の能力に応じて負担すること
応益負担	自分が受けた利益に応じたものを負担すること
水平的公平	「負担能力が同じ人には、同じ負担を求めるのが公平」という考え方
垂直的公平	「負担能力が高い人には、より大きな負担を求めるのが公平」という考え方
世代間の公平	「現役世代と将来世代の受益と負担のバランスを保つ」という考え方

調べてみよう： https://www.nichizeiren.or.jp/taxaccount/education/sozei_nichizei/ (日本税理士会連合会HP)

ご清聴ありがとうございました



国税庁 e-Tax イメージキャラクター
イータ君